

令和3年度屏風ヶ浦地域ケアプラザ事業計画書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>公正・中立性の確保する為に、相談受付時「ホームページ」、主任ケアマネージャが作成している「磯子区ケアマネ空き情報」等活用することで、相談者が自由に選択できるように配慮する。</p> <p>また、重要事項説明書にも自由選択について標記することで、契約時等においてお客様に説明し周知を図る。</p> <p>交流の貸館業務については「貸館マニュアル」に準じて公正に実施をする。貸室利用の不公平がないよう、また多くの方に貸室を利用できるように月初に「貸室希望票」にて団体の希望を確認する。希望の調整を直接団体とすることで、すべての団体が万遍なく利用できるように調整を行う。</p> <p>貸室業務については、すべての職員が同様の対応ができるよう内部で共有し、偏りが発生しないよう留意する。</p>	<p>事故防止として、法人統一帳票の「ヒヤリハット報告書」や「事故報告書」「事故区分」を活用して、事故の可能性を把握し、未然に防ぐ取り組みを行う。</p> <p>行政発信の市内事業所事故報告を共有し、自事業所でも起こりえる事故と捉えることで事故の予見、予防に活用する。</p> <p>職員に対して事故防止、個人情報の保護に関する研修を年1回以上実施する。年度途中にて新たに配属された職員には出勤初日に研修を行うことで、危機意識を持って仕事に取り組めるよう促しを行う。</p> <p>個人情報を外部へ発信するFAXや郵送作業については、必ず2人以上で手順を確認する。その際、指さし確認及び声を出して確認をするようにする事で、個人情報漏えい事故を未然に防ぐ取り組みを継続的に行う。</p> <p>法人が全職員に配布する「品質方針書」にも個人情報保護に関する倫理規定を定めおり、品質方針書を用いて周知を図るとともに、漏洩事故が発生しないよう注意喚起をしていく。</p> <p>個人情報の保管について、保管場所の施錠を基本とし、最終退館者はチェックリストを基に施錠状況を確認し、個人情報保護に努める。</p>
実績	<p>相談者に対しての公正・中立性確保については、取組計画通り実施できており、次年度に向けても継続的に取り組む事となる。</p> <p>貸館業務については、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、利用の制限等継続していたが、不公平が生じないよう配慮しながら利用頂くことができたと感じている。</p> <p>活動再開についての相談については、どの様な準備をすれば感染症対策となり活動再開できるか等アドバイスをし、貸館利用に繋がるよう連絡を行うことで、来館の機会を無くさないよう心がけて連絡を行った。</p>	<p>事故防止に関しては、特に個人情報漏えいが前年度続いた経緯を踏まえ、重点課題として取り組みを行った。職員へ研修、特に提供票送付や書類送付時期には朝礼などで注意喚起を行う等実施した結果、今年度は個人情報漏えい事故ゼロを達成する事が出来た。前年度の振り返り時に事故ゼロを目指した結果、達成できたと言える。</p> <p>ケアプラザ利用者(貸館利用者)についても、大きな事故などはなく、今年度は今までの積み重ねが実った年と言える。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	地域の資源(インフォーマルサービス)を活かしながら、個々の生活に着目した目標や希望に向けた計画を作成し実行することが出来る。	包括との連携を密に行い、地域の社会資源を活かして、質の高いケアマネジメントを実行することができる。
職員体制	ケアマネジャー2名 主任ケアマネジャー1名 会福祉士2名(1名) 保健師(看護師) 1名	社 主任ケアマネジャー1名 ケアマネジャー3名(常勤2名、非常勤1名)
契約者数	委託 207件 直営 121件	介護 118件 予防 21件

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	個々の生活環境を踏まえた上で、生活に密着した機能訓練を実施し、生活全体の向上を目指していく。「介護予防」に着目し、機能訓練の実施、他者との交流を積極的に行うことで社会参加を促し、自身の存在意味を感じて頂けるようにサービス提供を実施する。	「認知症対応型」として、ご利用者個々の状態を把握した上で関割ることで、心身の安定、身体機能の低下防止を図り、在宅生活を継続できるよう支援する。	
実施体制	【実施日数】 通所介護 毎週月・火・木・金・土曜日 介護予防 水曜日及び日曜日 【提供時間】 通所介護 9:30～16:30 介護予防 日曜日10:00～13:00 水曜日 ①10:00～13:00 ②13:10～16:10 【定員】 通所介護 45名 介護予防 日曜日35名 水曜日 ①②各33名	【実施日数】 毎週水曜日 【提供時間】 10:00～16:00 【定員】 8名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	通所介護 1食あたり750円 (希望にてお茶・お菓子代50円)	1食あたり650円 (希望にてお茶・お菓子代150円)	
職員体制	通所介護 管理者・生活相談員1名、介護職員7名、看護師2名 第1号通所事業 管理者・生活相談員1名、介護職員6名、看護師2名	管理者・生活相談員1名、介護職員2名	
契約者数等	【延べ利用者数】 10,188名 【契約者数】 139名	【延べ利用者数】 140名 【契約者数】 2名	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,734,000		18,734,000	18,734,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	236,400	△ 236,400	
雑入	0	0	0	352,879	△ 352,879	
印刷代			0	291,280	△ 291,280	
自動販売機手数料			0	61,599	△ 61,599	
その他	0		0		0	
収入合計	18,734,000	0	18,734,000	19,323,279	△ 589,279	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,001,000	0	13,001,000	11,664,713	1,336,287	
本俸	9,500,000		9,500,000	8,123,580	1,376,420	
社会保険料	1,361,000		1,361,000	1,288,438	72,562	
手当計	2,000,000		2,000,000	2,138,946	△ 138,946	
健康診断費	70,000		70,000	42,067	27,933	
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他	70,000		70,000	71,682	△ 1,682	
事務費	1,200,000	0	1,200,000	2,120,723	△ 920,723	
旅費	25,000		25,000	202,484	△ 177,484	
消耗品費	150,000		150,000	394,037	△ 244,037	
会議随費			0		0	
印刷製本費	200,000		200,000	542,791	△ 342,791	
通信費	290,000		290,000	407,847	△ 117,847	
使用料及び賃借料	138,400	0	138,400	148,400	△ 10,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	138,400		138,400	8,400	130,000	
その他			0	140,000	△ 140,000	
備品購入費	75,000		75,000	41,887	33,113	
図書購入費	75,000		75,000	36,468	38,532	
施設賠償責任保険	85,000		85,000	91,617	△ 6,617	
職員等研修費	25,000		25,000	7,782	17,218	
振込手数料	1,000		1,000	390	610	
リース料	100,000		100,000	137,107	△ 37,107	
手数料			0	896	△ 896	
地域協力費	25,000		25,000	4,800	20,200	
その他	10,600		10,600	104,217	△ 93,617	
事業費	950,000	0	950,000	655,146	294,854	
運営協議会経費	40,000		40,000	23,016	16,984	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	910,000		910,000	632,130	277,870	
その他			0		0	
管理費	3,100,000	0	3,100,000	2,265,373	834,627	
光熱水費	950,000		950,000	1,105,098	△ 155,098	
清掃費	250,000		250,000	439,202	△ 189,202	
機械警備費	280,000		280,000	45,210	234,790	
設備保全費	1,020,000	0	1,020,000	450,437	569,563	
空調衛生設備保守	220,000		220,000	210,958	9,042	
消防設備保守	150,000		150,000	30,136	119,864	
電気設備保守	100,000		100,000	46,107	53,893	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000		50,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	500,000		500,000	163,236	336,764	
共益費	300,000		300,000		300,000	
その他	300,000		300,000	225,426	74,574	
修繕費	474,000		474,000	237,967	236,033	予算：指定額
公租公課	9,000	0	9,000	0	9,000	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	4,000		4,000		4,000	
その他	5,000		5,000		5,000	
その他			0		0	
支出合計	18,734,000	0	18,734,000	16,943,922	1,790,078	
差引	0	0	0	2,379,357	△ 2,379,357	

自主事業費 収入	0	0	0	236,400	△ 236,400	
自主事業費 支出	910,000	0	910,000	632,130	277,870	
自主事業 収支	△ 910,000	0	△ 910,000	△ 395,730	△ 514,270	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	61,599	△ 61,599	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	138,400	0	138,400	8,400	130,000	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 138,400	0	△ 138,400	53,199	△ 191,599	

*各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	27,296,000		27,296,000	27,296,000	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	150,000		150,000	150,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,500,000		5,500,000	5,500,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	30,800	△ 30,800	
雑入	0	0	0	46,600	△ 46,600	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	46,600	△ 46,600	
その他	0		0	0	0	
収入合計	32,946,000	0	32,946,000	33,023,400	△ 77,400	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	29,190,000	0	29,190,000	29,537,016	△ 347,016	
本俸	21,370,000		21,370,000	18,883,251	2,486,749	
社会保険料	3,055,000		3,055,000	621,236	2,433,764	
手当計	4,500,000		4,500,000	9,869,950	△ 5,369,950	
健康診断費	70,000		70,000	63,336	6,664	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0	0	0	
その他	195,000		195,000	99,243	95,757	
事務費	1,050,000	0	1,050,000	1,351,356	△ 301,356	
旅費	55,000		55,000	33,385	21,615	
消耗品費	250,000		250,000	108,640	141,360	
会議滞在費			0	0	0	
印刷製本費	250,000		250,000	263,618	△ 13,618	
通信費	400,000		400,000	648,245	△ 248,245	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	48,900	△ 48,900	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	93,000	△ 43,000	
職員等研修費	30,000		30,000	15,134	14,866	
振込手数料			0	416	△ 416	
リース料			0	82,368	△ 82,368	
手数料			0	0	0	
地域協力費	15,000		15,000	0	15,000	
その他			0	57,650	△ 57,650	
事業費	1,780,000	0	1,780,000	1,410,885	369,115	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	650,000		650,000	586,067	63,933	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	150,000		150,000	147,855	2,145	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	350,000		350,000	172,963	177,037	
その他			0	0	0	
管理費	800,000	0	800,000	602,180	197,820	
光熱水費	240,000		240,000	293,759	△ 53,759	
清掃費	65,000		65,000	116,750	△ 51,750	
機械整備費	70,000		70,000	12,018	57,982	
設備保全費	275,000	0	275,000	162,975	112,025	
空調衛生設備保守	55,000		55,000	56,078	△ 1,078	
消防設備保守	38,000		38,000	8,010	29,990	
電気設備保守	25,000		25,000	12,256	12,744	
害虫駆除清掃保守	32,000		32,000	32,000	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	125,000		125,000	86,631	38,369	
共益費	75,000		75,000	75,000	0	
その他	75,000		75,000	16,678	58,322	
修繕費	126,000		126,000	63,257	62,743	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	32,946,000	0	32,946,000	32,964,694	△ 18,694	
差引	0	0	0	58,706	△ 58,706	

自主事業費 収入	0	0	0	30,800	△ 30,800	
自主事業費 支出	1,150,000	0	1,150,000	906,885	243,115	
自主事業 収支	△ 1,150,000	0	△ 1,150,000	△ 876,085	△ 273,915	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位:千円)

	科目	(介護予防)認知症対応型通所介護			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,399	1,735	2,664	8,600	8,613	-13	20,875	24,256	-3,381	101,898	81,379	20,519	通所介護に計上		0
	その他	326	429	-103	0	0	0	1,079	69	1,010	9,920	21,800	-11,880	0	0	0
	利用者負担額	326	429	-103			0			0	9,920	21,638	-11,718			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0	1,079	69	1,010		162	-162			0
収入合計(A)		4,725	2,164	2,561	8,600	8,613	-13	21,954	24,325	-2,371	111,818	103,179	8,639	0	0	0
支出	人件費	通所介護に計上		0	6,952	6,380	572	17,274	16,936	338	72,711	62,043	10,668	通所介護に計上		0
	事務費	通所介護に計上		0	300	683	-383	698	1,298	-600	18,401	15,611	2,790	通所介護に計上		0
	事業費	通所介護に計上		0	60	36	24	77	378	-301	13,786	16,601	-2,815	通所介護に計上		0
	管理費	通所介護に計上		0	150	53	97	26	10	16	750	895	-145	通所介護に計上		0
	その他			0	0	0	0	0	0	0	0	1,572	-1,572	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
	減価償却			0			0			0		5,451	-5,451			0
	公庫補助金等			0			0			0		-3,879	3,879			0
	その他			0			0			0			0			0
支出合計(B)		19	0	0	7,462	7,152	310	18,075	18,622	-547	105,648	96,722	8,926	#VALUE!	0	0
収支 (A)-(B)		4,706	2,164	2,561	1,138	1,461	-323	3,879	5,703	-1,824	6,170	6,457	-287	#VALUE!	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	障害者スポーツ余暇支援COSMOS	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	余暇活動の場が少なく、引きこもりがちになりやすい一般就労や特別会社に入社している障害者を対象とした健康維持のためのスポーツ余暇活動。	2:障害児・者	5	フットサル:準備体操、ストレッチ、パス、ドリブル、シュート練習、ミニゲーム等 開催:毎月1回(日曜日、4月、8月お休み) 3月はスポーツフェスタ参加 講師:磯子スポーツセンター職員	10	143
2	スマイルティーンズ	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	就労している障害者の同窓会や外出など、地域での居場所と仲間との繋がりの場の提供。	2:障害児・者	5	外出支援や同窓会など。 開催:年1回~3回を予定	0	0
3	3B親子体操	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	乳幼児とその親と一緒にする体操教室を行うことにより、親子の絆を育むとともに健康づくりの一助となす。また、同じ養育の悩みを持つ親同士の交流の場となる。	3:養育者及び乳幼児	5	日本3B体操協会公認指導員を講師として実施。専用用具(ボール、ベルダー、ベル)を使用した体操を行う。 開催:毎月1回(4月、8月、1月お休み)	0	0
4	コロポックルの音あそび	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	0歳から音楽に親しみ「感じるころ」「聴くころ」「見るころ」など豊かな情操と感性を育むことを目的とし、同時に地域と繋がることにより居場所となり参加者同士の親子のコミュニケーションの場となることを目的とする。	3:養育者及び乳幼児	5	歌やピアノ演奏に合わせて親子で一緒にリズム遊びを楽しむ。鈴やタンバリンを叩いて音を楽しんだり、リズムをとったり、動物の鳴き声の真似をしたりと、0歳児から音楽に触れ合う。 開催:毎月1回	10	256
5	わくわくキッズ	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	屏風ヶ浦保育園、屏風ゆめの森保育園、ケアプラザが共催して開催することにより、地域へ向けた子育て支援活動を実施する。地域に開かれた社会資源としての位置づけを明確にし、地域の中での広がりを持った保育活動の拠点のひとつとなることを目的とする。	3:養育者及び乳幼児	5, 7	屏風ヶ浦保育園、屏風ゆめの森の保育士によるリズム体操や、用具を使い体を動かす遊びなど。また保育園の調理師による離乳食講座などを行いながら同時に子育て相談も行う。 開催:年2回~3回	0	0
6	多目的ホール開放デー	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援。子育て世代の居場所作り。	3:養育者及び乳幼児	5	多目的ホールを開放し、おもちゃで遊んだり、思い思いに時間を過ごす。 開催:毎月1回	12	132
7	オヤジの台所	平成23年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	高齢者支援。団塊世代の男性のコミュニケーション作り。料理を通じて食や健康への意識を高める。	1:高齢者	5	男性向けにゆくり・楽しく家庭料理を習う。実習中に野菜・果物など使う食材の効能や適正な調理法、調理の減塩方法などを聞く。 開催:毎月1回(8月、2月お休み)	11	44
8	手作りパン講座	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	健康生活支援。手軽にできる手作りパンを学びながら、地域住民の交流の場とする。健康や食事・料理に関する興味や楽しみが増える一助となる事を目的とする。	5:地域	5	手軽で本格的なパンを、生地作りから実習する。作ったパンの種類に合わせて、飲み物やサラダ・スープなど、季節の野菜や果物を使った料理等も添える。 開催:年3回開催予定	3	12
9	男性が作る行事食	平成30年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	高齢者支援。地域の団塊世代男性のコミュニティ作り。行事食を通じて日本の伝統行事や文化に触れる。	1:高齢者	5	男性の為の料理教室。行事食の由来や楽しみ方を聞きながら実習を行う。 開催:年2回を予定	0	0
10	おんぶの輪♪	平成27年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	お腹から声を出し、楽しく歌を歌うことにより、脳の働きや活性やストレスの解消など、日常を健やかに送ることを目的とする。また地域の方たちのコミュニケーションの場となる。	5:地域	5	季節にあった様々なジャンルの歌を、楽しく楽譜を見ながら歌う。開始時に簡単な準備体操と発声練習をする。 開催:毎月1回(1月、8月お休み)	9	116
11	健康サポート体操	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	自宅でも行える健康体操を学び、肩こりの解消、腰痛予防など健やかに暮らせる身体を維持することを目的とする。	5:地域	5	手軽なフィットネスツールを使った地域にお住まいの方を対象とした健康体操。 開催:毎月1回(5月休み)	10	137
12	ボディメイクエクササイズ	平成31年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	姿勢や筋力維持など、日頃の体力維持、健康維持に繋げる。これまでケアプラザをあまり利用することのなかった年代の方たちに参加してもらうことでケアプラザの周知に繋げる。	5:地域	5	ボクシングエクササイズを応用した健康エクササイズ。初めての方や幅広い世代(20代~60代)の方たちが参加できる内容となっている。 開催:毎月1回(4月休み)	10	76
13	地域の方が講師になる講座	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の方々の得意なものを地域へつなげる。	5:地域	1,3,4	地域の方々が講師となる講座。 開催:年2回~3回予定	3	42
14	親子でにこにこ!!	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援。親子の絆や豊かな情操を育みながら、健やかな発育に繋げる。子どもの潜在的な基礎能力を伸ばす手伝いをする。	3:養育者及び乳幼児	5	音楽に合わせて跳んだりわたり、また時にはリズムの要素も加えた内容も加える。簡単な手遊びや工作も取り入れている。 開催:月1回。	9	113
15	マスターしよう! フラダンス	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障害児と家族支援。日常の動きとは違う動きを習得することで、脳の働きを活発にし、集中力を養う。仲間と一緒に一つのことを作り上げていく喜び、達成していく喜びを感じ、曲の意味なども理解しながら、イベントなどで地域の皆さんに披露することを目標とする。	2:障害児・者	5	10月より隔月開催。貸室団体の講師を務めている先生を講師語りだけではなく、手の動きの意味やハワイ語での挨拶や体の部分の呼び名なども一緒に学んでいく。 開催:10月、12月、2月	3	30

■ 事業

- 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業
 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催(1と2) 5: 共催(1と3)
 6: 共催(2と3) 7: 共催(1と2と3)

■ 事業の性質

- 1: 優先的に取り組みが求められる事業
 2: 福祉保健活動に発展させることを
 ねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児
 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者
 7: その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
16	楽しく体験 フラダンス	令和3年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させる ねらい	足腰が弱り、なかなか体を動かす機会がなくなってしまう方や、本格的に始めるにはハードルが高くなかなか出来ない方などを対象に、代謝を上げ、フラダンスを通して、楽しく元氣な時間を過ごしていただくことを目的とする。	5: 地域	1	椅子に座ったままでも出来るフラダンスの体験講座。3回コースの講座だったが、参加者から追加してもらいたいとの要望があり、5回コースに変更。	4	32
17	至福の旬彩ごはん	平成30年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に 取り組み	健康生活支援を目的とする。	5: 地域	5	旬の食材を使用して季節感のある献立を実習する。料理の仕方だけではなく盛り付けなども学ぶ。 開催: 年4回	4	16
18	父親育児支援講座	令和2年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に 取り組み	初めての育児を経験中のパパ達を応援・支援することを目的とする。コロナ禍で家庭で過ごす時間が多くなりおさんとの触れ合う時間が多くなり、増えた家族との時間、コミュニケーションのとり方を学ぶ。	3: 養育者及び乳幼児	5	お子さんとの身体を使った遊び方や絵本の読み聞かせなど、実践的な内容と講師の経験談などの内容。参加者の質問コーナーを設けている。 開催: 年2回	2	24
19	はじめての親子プログラミング教室	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に 取り組み	日常にあふれているプログラミングを理解することを目的とする。	4: 子ども・青少年	5	講師を迎え、「プログラミングとは」「どんなところに使われているのか」「実際に自分で作ってみる」という内容を親子で学ぶ。	1	14
20	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	令和3年度	5: 共催(1と3)	1: 優先的に 取り組み	・元氣な高齢者が地域でボランティア活動を行うことにより、本人の健康増進や介護予防、社会参加や地域貢献を通じた生きがい作りの促進と地域との交流の促進を目的とする。 ・区内の新杉田地域ケアプラザと共催で登録研修会を開催することで、ケアプラザ圏域を越えた近隣のケアプラザを利用している地域住民に対する活動や社会参加を促進することもできる。	1: 高齢者	5	65歳以上の地域の方々を対象に、「よこはまシニアポイント事業」の理解やボランティア活動の心構えや注意すべきなどを理解してもらった。研修後、その場でポイントカードが発行される。またそれぞれの地域ケアプラザの事業を紹介し活動の促進を図る。	1	12
21	介護者のつどい	H29年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に 取り組み	介護という悩みを持つ方々と語り合ったり、専門職からのアドバイスを受け、少しでも悩みを軽減し、リフレッシュして頂く。	1: 高齢者	5	介護者同士、お互いの介護の悩みを話し合う。(毎月第4金曜日)	9	25
22	男性介護者のつどい	H31年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に 取り組み	男性介護者同士の連携を目的とし、気軽に介護に対する男性特有の悩みについて話し合う。	1: 高齢者	5	男性職員が聞き役となり、介護の悩みについて話し合う。年2~3回程度を目標として実施する。	0	0
23	プラチナ体操	H18年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に 取り組み	介護予防の運動機能向上、閉じこもり予防のための事業として実施	1: 高齢者	1	対象者は概ね80歳以上、座位中心の運動プログラム。体力低下、腰痛、膝痛があっても参加できる内容。講師は外部運動指導士。毎週木曜日開催(月4回)。介護予防ミニ講座および交流の時間を含む。	47	365
24	すまいる体操クラブ	H22年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に 取り組み	介護予防の運動機能向上を目的とする。H22年より体力向上プログラムの卒業生グループを母体としながら、基本的に自立の高齢者を対象としている。	1: 高齢者	1	座位中心の運動中心に、しなやかな身体づくりをめざし、ストレッチ、リズム体操、マット運動、筋肉トレーニング、コグニサイズ等を含む内容。講師は外部の運動指導士。第1、第3土曜日開催。	22	213
25	屏風ヶ浦・汐見台地区キャラバン・メイト連絡会	H29年度	7: 共催(1と2と3)	2: 発展させる ねらい	H29年度から定期的に開催していた連絡会を継続していくことで、会のメンバーとしての役割を持っていくことが出来るよう支援していく。認知症施策や磯子区役所、屏風ヶ浦ケアプラザでの取り組みをともに検討しながら活動していく。また、キャラバンメイト同士の親睦を深めることで活動の促進にも努める。連絡会を継続・発展させていくことで、今後の地域に対する認知症普及啓発を合同で取り組んでいく。	5: 地域	5	・キャラバン・メイト連絡会の活動について検討する。 ・認知症サポーター養成講座での参画。 ・地域における高齢者サロンでの参画。 ・原則奇数月第一金曜日開催	2	11
26	ケアマネサロン拡大版	H18年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に 取り組み	ケアマネジャーの質の向上や各事業所間、異業種間との顔の見える関係作りを目的とする。	6: 事業者	1	区内包括支援センター・主任ケアマネ連絡会共催も含め、年に6回~7回程度を目標に開催する。	4	137
27	ケアマネサロン独自版	H18年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に 取り組み	屏風ヶ浦地域のケアマネジャー支援として、また顔の見える関係作りを目的とする。	6: 事業者	1	ケアマネジャーの質の向上のため、屏風ヶ浦OP包括独自の取組として、年に1~2回程度を目標に開催する。	1	9
28	いきいきシニアセカンドライフ講座		2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に 取り組み	地域住民に対して福祉・保健の観点からお役立ち情報の提供を行う。	1: 高齢者	5	包括の三職種が選択した内容で、依頼した外部講師等による講義を行う。年間10回を目標として実施する。	9	170
29	もりもり広場連絡会拡大版	平成30年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に 取り組み	もりもり広場が開所してから年度末に連絡会拡大版を開催し、もりもり広場で活動している方々に参加していただき、多方面での情報共有や意見交換を行っている。参加者の幅が更に広がり、より良い企画や活動の活性化を図ることが出来るための支援をする。また課題の共有や解決に向けた意見交換を行う。	5: 地域	5	もりもり広場にに関わる関係者やボランティアが集まり、意見交換や情報共有をする。もりもり広場のイベントや介護予防プログラムの参加等など、広場長から広場の様子や課題などを報告し、それらの意見交換を行う。	0	0

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
30	地域支援連携事業 (屏風ヶ浦地区社協の支援)	平成30年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	屏風ヶ浦地区社協の活動や地域福祉保健計画(スイッチON磯子屏風ヶ浦地区)の推進に向けた各自治会町内会の活動を通して、ケアプラザの役割や情報の提供を行い、地域の課題解決に結びつける。	5:地域	5	・網戸の張替え講座 6月28日(1回) ・三殿台遺跡地域探訪 11月14日(1回)	2	41
31	スマホステップアップ講座Ⅰ・Ⅱ	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	昨年度、Yワイひろばでソフトバンク株式会社の講師による初心者向けの「はじめてのスマホ体験教室」を3回連続講座で開催した。その後、参加された方々にスマホの活用状況についてお聞きするとまだまだ活用に自信がないという声が多かった。更に勉強したいという声も多かったため、ステップアップ講座を二人の地域のボランティア講師に依頼し、質問対応が細かくできるような講座を開催する。	5:地域	5	I:Line編 ①・Lineの通信料 ・Lineの設定と注意事項 他 ②・Lineのトークグループ作成 ・Lineアルバム作成 他 II:キャッシュレス決済について ・キャッシュレスでお得に決済 ・電子マネー(Pasmoやセブンイレブン) ・スマホ決済について	8	92
32	エヌケイキャブとの意見交換会 (中原自治会・久良岐丘自治会)	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	昨年度、中原自治会と久良岐丘自治会の高齢者向けに外出・タクシー利用に関するアンケートを実施した。集計結果を両地区とエヌケイキャブに報告したところである。今年度はそれらのアンケートの意見や要望をもとに、こんなタクシーの利用があった良いや、地域の生活状況などの意見交換をし、日常生活での新たなタクシー利用に関するサービス創出をともに考えていく。	5:地域	5	住民にとってあったらいいなと思う、タクシー会社が行う地域の移動サービス・手段について、ざっくりぼんやり話し合いの場を持ち、顔の見える関係性の一步とする。また一方ではあまり知られていないタクシー会社の現況の取り組みなどの情報を共有することで、身近なタクシーを感じてもらえる。 中原自治会と久良岐丘自治会とそれぞれに、生活になかでのタクシー利用に関して意見交換し、その後メンバーを定めエヌケイキャブとの意見交換会を開催する。	0	0
33	(地域支援連携事業) Yワイひろばサロン事業	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域の方々が得意な事や、やってみたいことを通して仲間づくりをし、ボランティア活動や社会参加を促し地域の担い手や居場所づくりを目的とする。	5:地域		・地域づくりを地域住民や団体等と一緒に進めていくためにケアプラザとしての役割や目的を周知したうえで、地域に信頼される存在となつて、地域づくりを推進していく。 ・居場所や生活支援が多様な選択ができるよう、地域に根差した活動を地縁団体や民間企業など、多様な主体へ働きかけをする。	9	57
34	スマホ学習サロン	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	スマホの活用に関する講座に参加され、更にもっと学びたいという方々の仲間づくりをする。	1:高齢者		・スマホの活用でわからないことを少しずつでも解消されるよう、一緒に学んでいく支援をする。 ・わからない人も気軽に参加して、学ぶことが出来るサロンづくりを支援をしていく。	22	167
35	Pepperと学ぶSDGsと環境・防災教室	令和3年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	ソフトバンク株式会社の社会貢献の一環として行われている、防災教室をケアプラザの夏休みの企画として開催する。 ソフトバンクの担当者とPepperが授業の進行役を担当し、Pepperとのやり取りを通し、防災知識や状況に応じた的確な行動を事例を用いて紹介する。そのことを通して、児童・生徒自らが状況に応じた行動が取れるよう学ぶことを目的とする。	5:地域		ソフトバンクが防災授業として行っている中から、今回はSDGs温暖化防災の大雨に関する内容で小学校高学年の児童(親子も可)を対象とする。 Pepperと一緒にスライドを使って、「SDGsとは」「近年の大雨による災害」について学ぶ。また、自分たちが住む街のハザードマップやいざという時の安否確認171災害伝言板等についても周知していく。	1	12
36	(地域支援連携事業) Yワイひろば連絡会(協議体)	令和3年度 8月～	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	Yワイひろばの活用に関して、運営企業である株式会社太陽住建と、区役所、区社協、屏風ヶ浦CP、新杉田CPと地域活動者や団体とが集まり、定期的に意見交換や情報共有をおこなう。多様な団体と高齢者を含む地域住民との新たな繋がりづくりや、地域の中の人(住民だけでなく)の介護予防や見守り活動につなげていけるようYワイひろばの活用を検討、実施していく。	5:地域		参加者それぞれが持つ情報の共有やYワイひろばの活用に関する意見交換などをする場として、毎月1回の連絡会を開催する。 屏風ヶ浦地域ケアプラザと新杉田地域ケアプラザの共催で開催され、輪番で次第や議事録の作成と協議体概要書の提出を行う。	5	30
37	スマホ相談会	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	・地域の高齢者のスマホ活用が広がるように講座や教室ではない個別の相談の場を作る。 ・スマホ学習サロンの参加者でスキルアップした方々が、スマホの活用の普及啓発の一助となる役割をもち、よこはまシニアボランティアの活動とする。	1:高齢者		・3名定員とし、1時間30分の中で、スマホの活用について個別相談を講師が受ける。 ・スマホ学習サロンの参加者にサポーターとして講師のフォローをする。	6	64
38	はじめてのSDGs講座	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	・日頃、よく耳にする「SDGs」について講義やグループに分かれたカードゲームを通して楽しく学ぶことができる。また、それぞれの地域の中での活動や、日々の生活の中で世界との繋がりを感じていくことができ、持続可能な未来のために、みんなが一歩を踏み出すきっかけとなる。 ・8月に開催したソフトバンク株式会社による「Pepperと学ぶSDGs環境・防災教室」の参加者から、自治会町内会の中で、SDGsについて勉強会を行いたいと思っているので、継続して講座を開催してほしいというニーズに対応する。	5:地域		①SDGsの基本的な考え方や地域に密着したSDGsを学ぶ。 ②カードゲームでSDGsを体験する。	2	28
39	地域支援連携事業 (ふれあいサロンComodo)	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域の方々が得意な事や、やってみたいことを通して仲間づくりをし、ボランティア活動や社会参加を促し地域の担い手や居場所づくりを目的とする。	5:地域		・地域づくりを地域住民や団体等と一緒に進めていくためにケアプラザとしての役割や目的を周知したうえで、地域に信頼される存在となつて、地域づくりを推進していく。 ・居場所や生活支援が多様な選択ができるよう、地域に根差した活動を地縁団体や民間企業など、多様な主体へ働きかけをする。	1	45

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
40	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	令和3年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	・元気な高齢者が地域でボランティア活動を行うことにより、本人の健康増進や介護予防、社会参加や地域貢献を通じた生きがい作りの促進と地域との交流の促進を目的とする。 ・区内の新杉田地域ケアプラザと共催で登録研修会を開催することで、ケアプラザ圏域を越えた近隣のケアプラザを利用している地域住民に対する活動や社会参加を促進することもできる。	1:高齢者		65歳以上の地域の方々を対象に、「よこはまシニアポイント事業」の理解やボランティア活動の心構えや注意すべきことなどを理解してもらおう。研修後、その場でポイントカードが発行される。またそれぞれの地域ケアプラザの事業を紹介し活動の促進を図る。	1	12
41	シニア世代のLINE体験会 (民生委員向け)	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	昨年10月「はじめてのスマホ体験教室」の開催から、ステップアップ講座や小人数でのスマホサロンを継続して展開していく中で、屏風ヶ浦地区第2民生委員児童委員協議会会長からは非民生委員向けにもスマホ講座を開催してほしいと話がある。 昨年からのコロナ禍で民生委員児童委員の方々が、地域の中の人たちの見守りがしにくい状況にある事や、スマホを活用することで、委員同士や地域の方々との繋がりを持つツールとしてのスマホ活用を推進していく。まずは民生委員児童委員がスマホを活用することで、身近な人に教えてあげることが出来るようになることを目的とする。	1:高齢者		・LINEアカウント登録方法 ・安全に使う推奨設定の紹介 ・友達設定 ・グループ設定 ・トーク方法(テキスト、写真、動画、資料のやり取り) 時間は60分から90分程度	1	10
42	ワクチン接種サポート事業 ～新型コロナワクチン接種の予約方法やスマホの操作を学びましょう～	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスの感染拡大防止及び重症化予防の観点から、ワクチンの3回目接種を行う準備が進められおり、横浜市でも1・2回目と同様に、接種予約は事前予約制で行われる予定。そこで横浜市より市内の地域ケアプラザにおいて、地域住民の困りに寄り添いワクチン接種予約のサポート体制の実施協力の依頼がある。1・2回目の接種予約時、特に高齢者の中にはスマホやタブレット等からのweb予約が困難であった方も少なくない為、既存のスマホ講座の枠を使ってワクチン接種予約の許あほの操作方法についてサポートする。	1:高齢者		・メール送受信の確認 ・LINE公式アカウントから予約方法 ・webサイトからの予約方法 他、	3	19
43	スマホ応援隊	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	・地域の方々で得意な事や、やってみたいことを通じて仲間づくりをし、ボランティア活動や社会参加を促し地域の高齢者のスマホ活用の普及啓発のお手伝いをするを目的とする。 ・その方が家族や友人・知人、地域の高齢者にもスマホの活用が広がり、繋がりが増えることを目的とする。	1:高齢者		スマホ学習サロンに参加してスマホの活用が出来ようになった方が、スマホ初心者に参加する「スマホ相談会」などで講師のサポートをすることで、参加者がスムーズにスマホ活用の相談をすることができ、気軽にわからないことを聞くことができる。	9	28
44	地域支援連携事業 男性向けカレー講座	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	高齢の男性が厨房に入ることがあるかないかは様々になってきているが、たまには家族や大切な人へ腕を奮ってカレーを食べていただく機会を作るために、シニアの男性を対象に気楽にカレーづくりを学ぶ。 連続講座に参加することで参加者同士の仲間づくりやその後の社会参加活動のきっかけづくりになる。 講師は以前にYワイひろばで自身で開催しているカレー講座を開催したことがあり、今回もYワイひろばで開催したいとの意向があった。Yワイひろばの周知にもつながり、今後の活用に生かされることも期待する。	1:高齢者		①初回はお試しカレー講座として「さば缶」を使った簡単カレーを作る。 ②4回の講座では、様々な種類のカレー作りを調理実習をして学ぶ。 ③最終回の講座では、「おてもなしカレー講座」とし、おしゃれな盛り付けなどを学ぶ。	1	5